

- ◇弘前さくらまつりについて……表面、裏面
- ◇新商品のご案内……裏面
- ◇平成26年度通常総会について……裏面
- ◇ひのまるキッズ柔道大会について……裏面
- ◇催事結果報告……裏面
- ◇今後の催事予定……裏面
- ◇アンテナショップの取り組みについて……裏面

さくらだより

発行者

〒036-8356 青森県弘前市下白銀町2-1

公益社団法人弘前市物産協会

TEL 0172(33)6963 FAX0172(37)6388

<http://www.hirosaki-bussan.or.jp>

日本一の桜に誘われて…… 230万人の人出



4月23日天候にも恵まれ、開花宣言と同時に弘前さくらまつりがスタート。

「弘前さくらまつり」と改められた1961年以降、まつりの開催日と開花宣言が重なるのは二度目となり、まつり初日から市内外から6万人の方が弘前公園を訪れました。

近年、桜の早咲きや遅咲きが多く、準まつり体制や会期延長が行われた中、15年ぶりに会期どおりでまつりが行われ、まつり期間中の人出は昨年を上回る230万人。有料区域の入園者数も26万1005人と最高を記録しました。

人出が多かった要因として、ソメイヨシノの開花がまつりと重なり満開状態が4月27～30日にわたって続いた事や、花の見頃と天気が一致した事、旅行会社によっては弘前城の石垣改修についてパンフレットで触れており、花が少なくなったGW後半もたくさんのお客様が訪れたことがあげられております。

また、市内各所でたくさんイベントが開催され、当協会も参加した『オールひろさき「さくら市」』には開催期間中たくさんのお客様が足を運び賑わっておりました。4月26日～28日の3日間追手門広場で行われた友好都市「斜里町」の物産販売&観光PRでは、斜里町の名産品である海産物やでんぷん団子を使ったお汁粉、にんじんジュースなどを買い求める人で大盛況でした。

こうして、たくさんの方の努力と協力で無事に終える事ができた2014年の弘前さくらまつりですが、今秋から石垣の大規模改修のため、天守閣が本丸側に70メートル移動し、内堀の水面に映る天守閣と桜の風情は10年後まで「おあずけ」となり、今後10年間の観光客の動向が気になるところです。

当協会として来年以降も、今年以上に良い結果を残せるよう早い段階で対策を考えていく必要があります。

さくらまつり期間中売上

さくらはうす	H25年比 101.0%	H24年比 125.0%
武徳伝	H25年比 107.0%	H24年比 182.8%
物産館	H25年比 97.0%	H24年比 102.9%
JR弘前駅	H25年比 100.2%	H24年比 96.5%
土手町コミュニティパーク	H25年比 103.4%	H24年比 実績なし

※売上比は、まつり開催期間であるH26年4月23日～5月6日まで、H25年4月23日～5月8日まで、H24年4月23日～5月7日までの売上と比較しております。

さくらまつり期間中の食品・工芸品の売上の割合

さくらはうす	食品 81.3%	工芸品 18.7%
武徳殿	食品 70.2%	工芸品 29.8%



物産館内の販売の様子



斜里物産展の様子



弘前公園外堀の様子



夕暮れの岩木山と満開の桜